

2017
2月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第150号①【基準日 2017年1月31日】



🌸 社長メッセージ

【祝 150号】 先行き不透明な環境の中で

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。ありがとうファンドを設定して今月末で12年半となり、この月次レポートもおかげ様で150号を迎えることができました。これもひとえにお客さまのご支援の賜物であると御礼申し上げます。

さて、先月を振り返って見ますと米国ではトランプ氏が1月20日に米国大統領に就任しました。就任直後からTPP離脱やメキシコとの国境に壁建設、入国禁止令など選挙期間中に公約していた政策について、連日大統領令に署名して矢継ぎ早に実行に移そうとしています。就任前までの期待先行のトランプラリーの雰囲気から一転して現実に引き戻された感があります。

トランプ大統領の自国優先の米国第一主義や保護貿易主義的な言動や政策に各国、企業とも戦々恐々としている状況ではないでしょうか。日本に対しても為替操作国として円安誘導していると批判したり、トヨタ自動車にメキシコ工場で作ってアメリカに輸入したら高い関税を課すと警告したりと決して他人事ではありません。



トランプ大統領の言動の妥当性・正当性はさておき、選挙中の公約を忠実に有言実行しているだけとの見方もできますが、大統領に就任したら、過激な発言も少しは収まるのではないかと期待はあっさり裏切られた格好になりました。

今後、政策が実際にどこまで実現されるかは、議会承認の問題などもあり不透明ではありますが、一つ確かなことは過去の延長線上で考えることができなくなったということです。オバマ政権時代の政策が継続されず見直され、国内世論は分断し、自国優先・保護主義に傾倒し、まさに非連続の連続が起きていると考えられます。

世界を見回すと今年欧州において政治イベントが多く、オランダ、フランス、ドイツなどで選挙が行われます。昨年のBrexit(英国EU離脱)のように自国優先・保護主義・移民排斥を主張する極右勢力が台頭する可能性も少なくありません。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

以上のように、今年の世界経済はイベントリスクが多く先行き不透明な環境ではありますが、IMF(国際通貨基金)では、2017年世界経済についてはゆるやかな回復の見通しで前年比+0.3%の3.4%の経済成長を予測しています。

図:世界経済見通し予測一覧

地域	推計		予測	
	2015年	2016年	2017年	2018年
世界経済	3.2%	3.1%	3.4%	3.6%
先進国	2.1%	1.6%	1.9%	2.0%
米国	2.6%	1.6%	2.3%	2.5%
ユーロ圏	2.0%	1.7%	1.6%	1.6%
新興国	4.1%	4.1%	4.5%	4.8%
中国	6.9%	6.7%	6.5%	6.0%
インド	7.6%	6.6%	7.2%	7.7%
日本	1.2%	0.9%	0.8%	0.5%

出所: IMF(国際通貨基金) 2017年1月16日改訂見通しより

トランプ米大統領の言動によって、しばらくは各国、企業とも振り回される状況は続きそうで、その度にマーケットは一喜一憂する展開が予想されますが、長期的な視点で世界全体を俯瞰すれば人口増加、新興国における中間所得層増加、高齢化、生産性の向上、ITデジタル化の進展など、大きな流れであるメガトレンドは変わっておりません。

私たちは短期的な株価の動向やマーケット動向に惑わされることなく、長期的な視点でそのようなメガトレンドの恩恵を受けて持続的に成長していける企業などに投資することによって、長期での利益成長の恩恵を享受することができると考えております。

現在のような先行き不透明な環境の中でこそ、目先の相場を予測した短期売買ではなく長期投資の視点がますます重要になってくると考えておりますので、私たちはこれからもブレずに王道である長期国際分散投資で良い投資先に厳選投資して、お客さまにご投資いただいた資金を大切に運用してまいります。

皆さま、こういう環境の中だからこそ、ご自身の資産運用をする目的を思い出して、コツコツと長期国際分散投資で資産運用を継続して参りましょう！

今後ともありがとうございます投信をどうぞよろしくお願いいたします。



ありがとうございます投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうございますファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとうございます投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

よくわかる資産運用ABC



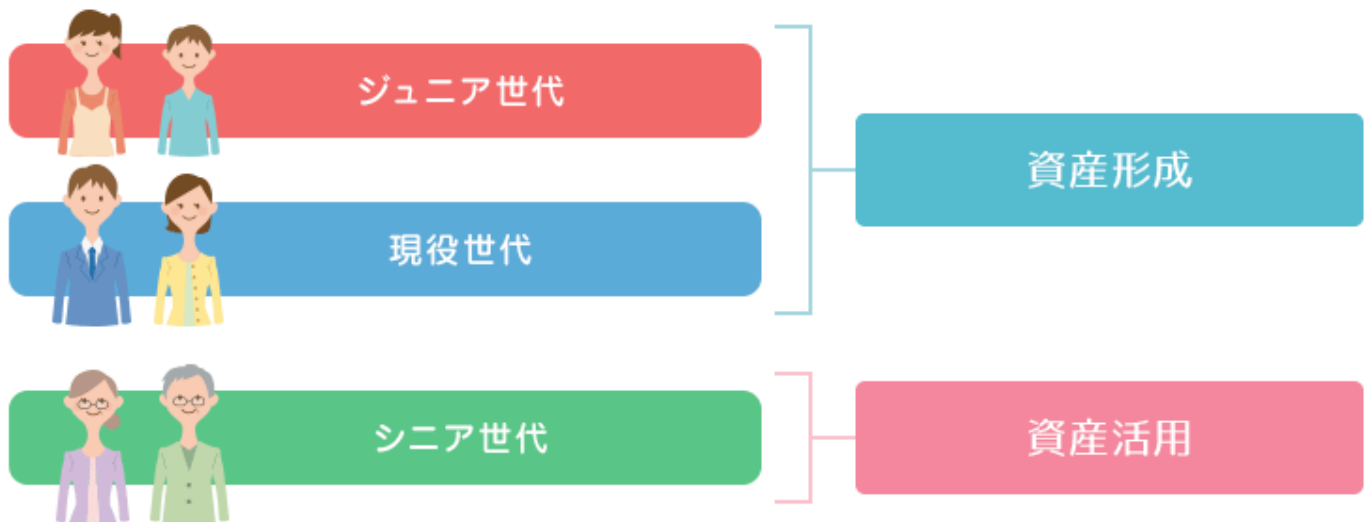
資産運用と出口戦略
～定期換金サービスと毎月分配型ファンドについて～



今月より新コーナー『よくわかる資産運用ABC』コラムをスタートいたします！資産形成や資産活用の方法から資産運用業界や投信の最新の動向までわかりやすく解説させていただきますのでご一読ください♪

今回取り上げるテーマは資産運用と出口戦略についてです。資産運用の話と聞くと、資産形成の必要性から積立投資の大切さ、どのように分散投資をすればよいのか、どんな商品を選べばよいのか、という話がほとんどで、資産運用の出口戦略の話についてはあまり聞いたことがない方が多いのではないのでしょうか。

資産運用と一言で言っても、実は大きく資産形成期と資産活用期の2つのフェーズに分けることができます。



今回はこの資産活用にフォーカスして定期換金サービスと毎月分配型ファンドを比較検証しながら出口戦略について考えていきたいと思います。

現在の平均寿命は男女ともに80歳を超えてきており、今後の医療技術の進歩を考えると100歳近くまで寿命が延びることも想定されています。60歳で定年退職した場合、平均寿命まで実に20年以上もの期間があるわけです。公的年金がどのくらい支給されるかというと、厚生年金の場合では標準的モデルケースで夫婦2人で毎月約22万円程度です。足りない部分や一時的な出費については、現役時代に真面目に働いて蓄えてきた貯蓄やコツコツ積立投資をして資産形成してきたお金を取り崩していくことになります。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ところで、日本においては以下の図のように毎月分配型ファンドが、2016年12月末時点で投資信託純資産残高上位10位をすべて占めております。

順位	ファンド名	純資産(億円)	決算回数
1	フィデリティ・USリート・ファンド B(ヘッジ無)	15,551	12
2	新光 US-REIT オープン《ゼウス》	15,446	12
3	ラサール・グローバル REIT ファンド(毎月)	12,312	12
4	フィデリティ・US ハイ・イールド・ファンド	8,864	12
5	ダイワ米国リート・ファンド(毎月)ヘッジ無	7,323	12
6	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月)B(ヘッジ無)	7,164	12
7	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月)	7,107	12
8	グローバル・ソブリン・オープン (毎月)	6,605	12
9	ワールド・リート・オープン(毎月)	6,011	12
10	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月)	4,709	12

出所:投資信託事情よりありがとう投信作成

特にシニア世代の方が、銀行や証券会社に勧められて毎月の分配金を目当てに、ある程度まとまった金額を投資しているケースが多いようです。この毎月分配型ファンドというのは長期投資や資産形成という観点では複利効果が得られず分配するたびに利益に対して課税されるので運用の観点で考えれば非効率な商品です。

しかしながら、資産活用期のシニア世代にとっては毎月キャッシュフローが入ってくるので、年金で足りない分を補填する効果が期待できます。分配金の水準にもよりますが、例えば年3%の分配金が出る場合、2000万円投資すると毎月5万円(毎年60万円)の分配金がもらえることになります。

もしリスクがなくて年3%の安定した分配金がもらえるのであれば誰もが欲しくなる商品かもしれませんが、そのようなものは残念ながらありません。現在の金利水準は10年物長期国債の利回りで0.10%程度ですので、リスクフリーで得られる金利は3%の30分の1になり、2000万円投資したケースで言えば毎月約1666円(毎年2万円)しか得られないことになります。

これ以上の利回りを得ようとすれば当然のことながらリスクをとる、つまり元本割れのリスクを許容する必要があります。実際運用されている毎月分配型ファンドの多くは運用益だけで分配金の原資を賄うことが出来ず、元本の取り崩し・払い戻しが行われていることが少なくありません。

それ自体は投資したお金が戻ってきているだけなので良くも悪くありませんが、問題になっているのは投資している人自身が元本を取り崩していることに気が付いておらず、元本は減っていないと考えていることです。

そのような誤認をしないように評価額と受け取った分配金を合わせてトータルでの損益を把握できるようにするトータルリターン通知制度も整備されましたが、依然として投信に占める毎月分配型ファンドの割合や残高は圧倒的に多いのが日本の現状であります。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

この状況を解消するために、当局も過度に分配金を出すファンドの設定を自粛するように指導したり、金融リテラシーの向上や投資教育の必要性が叫ばれておりますが、一方で、資産活用期にあるシニア世代の方には定期的なキャッシュフローのニーズがあることも事実で、そのことが依然として毎月分配型ファンドが好まれる要因として考えられるのではないかと推測されます。

資産活用期においては今まで貯蓄したり運用して増やしてきた資産を必要な額だけ換金しながら、すぐに使わないお金は余裕資産として運用を継続していくのはごく自然な行動であります。

運用する手段としてファンドを選択して、毎月お金が受け取れるという毎月分配型ファンドは、そのようなシニア世代の資金ニーズにマッチしており、毎月分配型ファンドの商品設計がシニア世代の潜在ニーズを満たしてきたと言えるでしょう。

しかしながら、資産活用期のシニア世代のニーズにあわせて、ファンドの商品設計を本来あるべきファンドの運用目的と異なる形にしてしまうのはどうしても無理が生じます。

シニア世代のニーズは資産をどのように活用していくのかが問題であり、毎月分配型ファンドのように商品として対応するのではなく、定期換金サービスなどのサービスとして対応すべき問題であると考えます。

以下に定期換金サービスと毎月分配型ファンドの特徴を比較してみました。御覧いただければわかるように定期換金サービスの方が顧客自身のニーズに合わせて自由に金額やサイクルを決められるので使い勝手の良いのがお分かりいただけると思います。

図：定期換金サービスと毎月分配型ファンドの比較

	定期換金サービス (定期引出、定期売却)	毎月分配型ファンド
目的	シニア世代のキャッシュフローニーズ 年金不足分の生活費補填	同左
特徴	定期的に自動換金できる 毎月でなくてもOK (奇数月、偶数月、四半期、半年等)	毎月分配金を受け取れる
税金	利益相当部分に対して課税 (元本部分は非課税)	利益に対して課税 (元本払い戻し部分は非課税)
受取金額	自分で自由に決められる 途中変更も中止も可能	決められない (運用状況により 減配、無分配の可能性あり)

運用対象	追加型ファンドであればOK 基本的に制限なし	分配金を出すことを意識した運用 インカムゲインが確保できる運用 (偏った資産に投資したり複雑な商品設計)
ファンド 運用内容	分配金を気にせず運用 効率的・複利効果	毎月分配金を出すため 運用は非効率
ファンド 事務コスト	低コスト 余計な決算事務コスト負担なし	高コスト 運用非効率で決算事務コストも嵩む
自由度	高い (顧客自身でニーズに合わせて 柔軟に設計)	低い (ファンドの分配方針に縛られる)
課題	サービスを利用できる 金融機関がほとんどない (直販は弊社のみ)	プロダクト志向で ファンド賞味期限と長期継続性に課題
トータルな 使い勝手	◎良い	×悪い

実際、米国の長期投資ファンドには何十年の運用実績がありますが、自分年金用の積み立てとして購入している人もいれば、リタイア世代が毎月定期換金して引き出しているというように同一のファンドでも世代によって、そのファンドの活用方法は違っております。

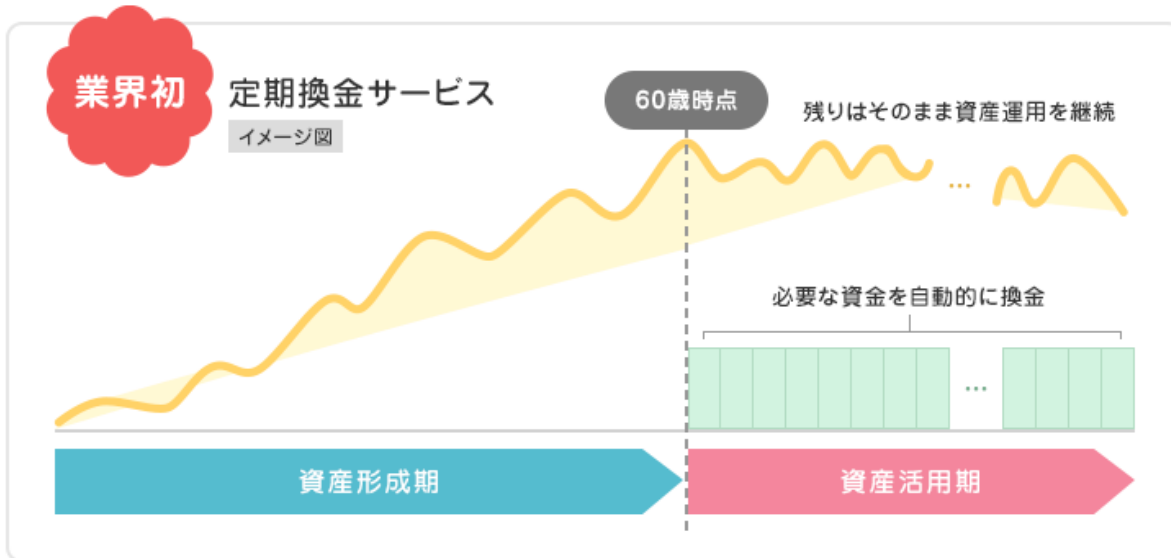
しかしながら、日本においては毎月分配型ファンドがこれだけ普及した一方、定期換金サービスはほとんど普及していません。

ファンドの定期積立サービスを利用できる販売会社は直販も含めてほとんどすべてですが、定期換金サービスを利用できる販売会社はほとんどありません。

なぜ普及しなかったのかを考えてみると、売れ筋ファンドが毎月分配型ファンドだったので、そもそも定期換金サービスを利用するニーズがほとんどなかったということ、短期の乗り換え売買が主流でファンドの平均保有期間は2～3年で、10年20年以上先を見つめて資産形成をしていける長期投資ファンドがほとんどなかったということがその主な原因でなかったのではないかと思います。

弊社では定期換金サービスを2006年に業界に先駆けて導入しております。これは弊社が「お客様の資産運用を一生サポートしていく」という目的と一致しているサービスであると考えているからです。

積立投資でコツコツと自分年金作りをされたお客様に計画的に資産活用をしていただくための制度として、定期換金サービスはなくてはならないサービスであると考えております。



使いながら増やす出口戦略「定期換金サービス」

- 必要な資金はファンド定期換金
- 資産運用の継続



他社にはないサービスです！

一生涯の資産運用をサポート

折角 60 歳までコツコツ定期積立投資で時間分散してリスクを抑えてきたのに、定年退職して年金だけになったとたん相場を見て高くなったと思って全売却の方が少なくないのですが、今まで投資を継続されてきた方なら短期の予測は当たらないということをよく理解されているのではないかと思います。

また、全売却した資金をどうするのか、その先が決まっていなまま換金すると、結局当面使う予定のない余裕資金まで預貯金にすべておいておくことになります。

最初に申し上げましたが、60 歳で全部換金したとして残り 20 年以上の期間を運用せずに預貯金に置いておくことは大きな機会損失であると言えるのではないのでしょうか。20 年という期間は、現在 40 歳の現役の会社員が 60 歳定年に向けて資産形成を始めることに相当する期間です。繰り返しになりますが、その期間を何もせずに預貯金に置いておくことは大きな機会損失になると言えるのではないのでしょうか。

そういう訳で定期換金サービスの活用が大切になってくるのです。資産運用には当然価格変動リスクがありますので運用損益は日々変動します。しかしながら、毎月一定額を換金していけばドルコスト平均で換金単価は平準化されますので相場変動に一喜一憂することがなくなりますし、安値で一括売却するリスクも回避することができます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

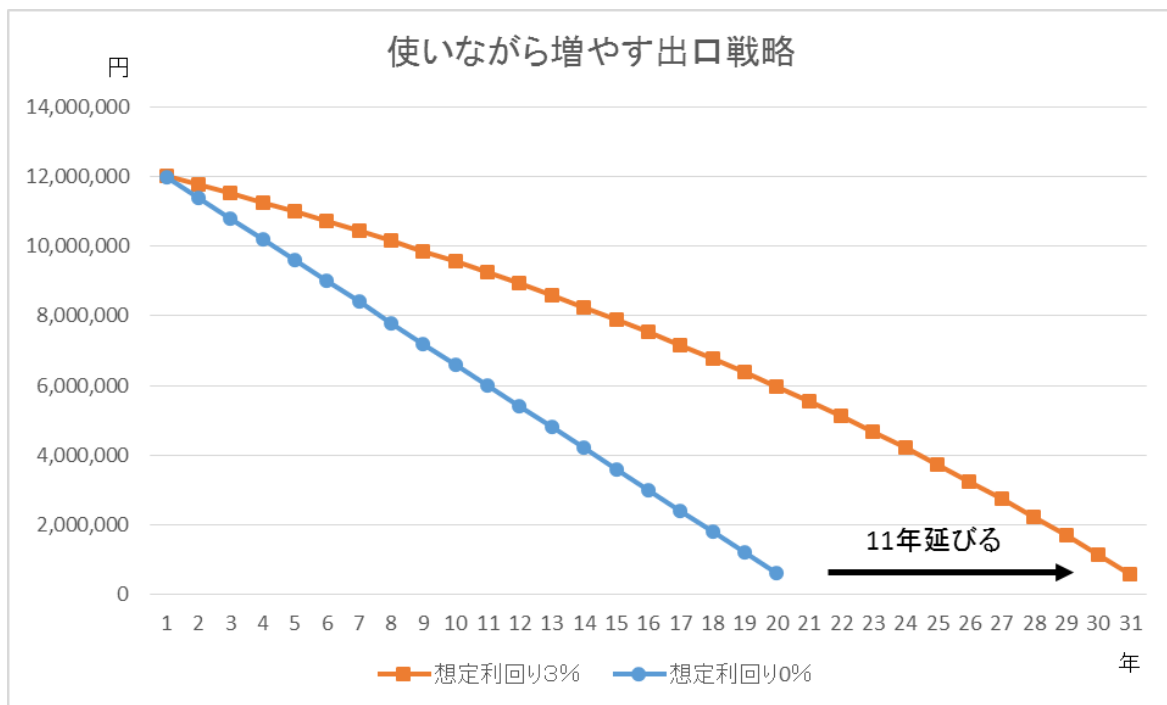
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

このように、積立投資と同じ時間分散のメリットを享受することが可能になるのです。そして、何より大切なのはすぐに使わない余裕資金は運用に回っているということです。現在の預金金利では資産はほとんど増えませんし物価上昇に対して購買力を維持することもできません。

運用することで平均して2%~3%の利回りでもあれば、元本が増える効果が期待できるので定期換金していける期間が運用しなかった場合と比べて伸びる効果が期待できます。人はいつかは亡くなりますが、いつ亡くなるかはわかりません。折角長生き出来たのにお金の心配をすることがないように備えておくことはとても大切なことです。

具体的な例で考えてみますと、65歳で1200万円の資金があったとしてこれを毎月5万円(年60万円)ずつ換金していく場合、預貯金だと1200万円を20年間(1200万円=20年×年60万円)、85歳で使い切ることになります。

これを運用しながら毎月5万円ずつ換金した場合はどうなるかという、想定3%利回りの場合は、1200万円を約31年間、96歳まで使い切れることとなります。実に約11年も期間が延びることとなります。



以上のように、資産運用していく中で資産活用期を迎えたシニア世代の方には、定期換金サービスを上手に活用することをおすすめしております。資産形成と一緒に資産活用も時間分散が基本です。

上がったら売るというタイミングを計る手法は長期間継続的にうまくいくことは難しいものです。タイミングの予測はプロでも当て続けることは困難です。

長期国際分散投資ファンドで時間分散投資してリスクを抑えていくことが資産運用ではとても大切なことであります。定期換金サービスの詳しい内容は弊社WEBサイト(<http://www.39asset.co.jp/beginner/generation/senior.html>)に紹介しております。ご興味がある方は是非ご覧いただければ幸いです。

マイページWEBシステム 2017年2月下旬スタート!

いつでも! どこでも!

スマホやパソコンで保有残高や評価金額が
確認できるようになります。



★マイページでできること!

- 保有残高や評価金額の確認
- 取引履歴の確認
- 取引報告書、取引残高報告書等の電子書面の閲覧



今までお電話で都度お問合せしていただいておりましたが、
スマホやPCで時間や場所を選ばずに
保有残高や評価金額を確認できるようになります!



★マイページの登録方法

詳しくはHPをご覧ください。(<http://www.39asset.co.jp/news/mypage/>)



★留意事項

- メールアドレスの事前登録が必要となります。メールアドレスを登録されていないお客様はお早めにご登録ください。
- ご家族で同一メールアドレスをご使用することはできません。
重複登録ができないため別々のメールアドレスに変更をお願いいたします。
- 電子交付サービスへの申込みが必須となります。新規利用登録する際に同時に電子交付サービスをお申込み頂けます。
- 電子交付サービスにお申込み頂いているお客様はサービス開始後、お早めに新規利用登録のお手続きをお願いいたします。取引報告書などはWEB上でご確認いただけるようになります。
サービス開始後、郵送はされなくなりますのでご注意ください。
- 一般口座と特定口座に残高をお持ちのお客さまについては、それぞれの口座毎に新規利用登録が必要となります。その際、口座番号が異なるため同一メールアドレスは登録することができませんので別々のメールアドレスでご登録をお願いいたします。
※メールアドレスの登録・変更をご希望のお客様は弊社までご連絡ください。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

✿ ✿ マイナンバーご提出のお願いについて ✿ ✿

2015年12月末までに弊社に口座開設されたすべてのお客様に対して、1月末にマイナンバー通知のための専用書類をお送りさせて頂きました。お手元に届きましたら、同封のリーフレットの内容をご確認のうえ、速やかにお手続き頂きますようお願い申し上げます。

★マイナンバーご提出に関するよくあるお問い合わせ



どの書類を提出する必要がありますか？

【個人番号提供書】と【マイナンバー確認書類】をご提出ください。
個人番号提供書には何も記入せずに提出してください。
マイナンバー確認書類は通知カード、個人番号カード、マイナンバー記載のある住民票のうちどれか1つをご提出ください。



本人確認書類を提出する必要はありますか？

身元確認済みのため、提出する必要はありません。



【個人番号提供書】に記入してしまいました。

記入してしまった部分に二重線を引いてご提出ください。



【返信用封筒】の宛先が「ありがとう投信」宛でないのはなぜですか？

弊社よりマイナンバー収集業務を「株式会社だいこう証券ビジネス」に委託しています。返信用封筒の宛先は、だいこう証券ビジネスが設置している私書箱宛になっています。



記載されている住所から引っ越しをしています。

弊社のご登録住所の変更手続きが必要となります。
弊社カスタマーサービス部までご連絡ください。



その他、ご不明点がございましたら、弊社カスタマーサービス部までご連絡ください。

39 コンシェル

～このコーナーではお客様の声や Q&A、大切なお取引に関するお知らせ、サービスのご紹介やセミナーのご案内などを掲載いたします～

【コツコツ分散のススメ】

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する※「定期積立サービス」がおすすめです♪

※「定期積立サービス」とは・・・毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。

①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンのチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、12年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのがわかるかと思います。

期間	平均取得単価	損益
1年	14,920円	8.48%
3年	14,791円	9.43%
5年	12,346円	31.10%
初回(2004年10月)から	10,593円	52.80%

2017年1月31日現在(基準価額: 16,186円)

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。投資先パートナーであるキャピタルでも投資の心得として“Time, not timing, is what matters”と掲げており時間分散による長期投資の効果の重要性を語っています。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<http://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとう資産運用個別相談会(事前予約制)	2月15日 (水)	東京	18:30～	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【キャリア形成もサポートします♪】 TOEIC®で英語を学ぼう(文法編) Lesson1	2月19日 (日)	東京	10:30～ 12:00	真木 喬敏 (ありがとう投信)
【平日】ありがとうファンドの魅力とは ～長期投資と国際分散投資で資産形成～	2月22日 (水)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
よくわかる投信の確定申告 ～証券税制、損益通算、申告方法など～	2月25日 (土)	東京	10:30～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【キャリア形成もサポートします♪】 TOEIC®で英語を学ぼう(文法編) Lesson2	2月26日 (日)	東京	10:30～ 12:00	真木 喬敏 (ありがとう投信)
【平日】よくわかる投信の確定申告 ～証券税制、損益通算、申告方法など～	3月1日 (水)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【キャリア形成もサポートします♪】 TOEIC®で英語を学ぼう(文法編) Lesson3	3月5日 (日)	東京	10:30～ 12:00	真木 喬敏 (ありがとう投信)
ありがとう資産運用個別相談会(事前予約制)	3月8日 (水)	東京	18:30～	長谷 俊介 (ありがとう投信)
よくわかる投信の年代別活用法 ～ジュニア世代・現役世代・シニア世代～	3月11日 (土)	東京	10:00～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【キャリア形成もサポートします♪】 TOEIC®で英語を学ぼう(文法編) Lesson4	3月12日 (日)	東京	10:30～ 12:00	真木 喬敏 (ありがとう投信)
【平日】ありがとうファンドの魅力とは ～長期投資と国際分散投資で資産形成～	3月16日 (木)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【これだけは知っておくべき法律知識】 第1回相続編	3月18日 (土)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (はるか法律事務所)
ありがとう資産運用個別相談会(事前予約制)	3月22日 (水)	東京	18:30～	長谷 俊介 (ありがとう投信)
よくわかる投信の確定拠出年金の活用法 ～DCのメリット・デメリット～	3月25日 (土)	東京	10:00～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【キャリア形成もサポートします♪】 TOEIC®で英語を学ぼう(文法編) Lesson5	3月26日 (日)	東京	10:30～ 12:00	真木 喬敏 (ありがとう投信)
【平日】ありがとうファンドの魅力とは ～長期投資と国際分散投資で資産形成～	3月29日 (水)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【特別ゲストセミナー】 (仮題)どうなる今後の欧州経済と投資戦略	4月1日 (土)	東京	13:30～ 15:30	高橋 庸介氏(コムジエスト・アセットマネジメント) 長谷 俊介・真木 喬敏(ありがとう投信)
【キャリア形成もサポートします♪】 TOEIC®で英語を学ぼう(文法編) Lesson5	4月2日 (日)	東京	10:30～ 12:00	真木 喬敏 (ありがとう投信)
【特別ゲストセミナー】 (仮題)どうなる今後の欧州経済と投資戦略	4月8日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	高橋 庸介氏(コムジエスト・アセットマネジメント) 長谷 俊介・真木 喬敏(ありがとう投信)
【特別ゲストセミナー】 (仮題)どうなる今後の欧州経済と投資戦略	4月9日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	高橋 庸介氏(コムジエスト・アセットマネジメント) 長谷 俊介・真木 喬敏(ありがとう投信)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 大事なお知らせ

1月より外貨建てファンドを組入れたことにより、弊社 HP の基準価額の更新時間が 17 時となりました。

🌸 平成28年度 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2月分	受付終了	受付終了	2月6日(月)	2月16日(木)
3月分	受付終了	2月22日(水)	3月6日(月)	3月16日(木)
4月分	3月3日(金)	3月27日(月)	4月6日(木)	4月20日(木)
5月分	4月5日(水)	4月21日(金)	5月8日(月)	5月18日(木)

🌸 ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

2月	20日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
4月	14日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	17日(月)	復活祭	ルクセンブルクの銀行休業日

🌸 ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはおお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.7%±0.25%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上 3-19-4 TEL 03-5807-9710】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

《39コンシェルジュサービス》

【キャリア形成もサポートします♪】

TOEIC®で英語を学ぼう(文法編)

この度、新しい企画として資産形成だけでなくキャリア形成もサポートする目的で TOEIC テストを題材にして英語を学ぶセミナーを開催いたします。講師は米国の大学院を卒業し大手外資系金融機関でキャリアを積んだ弊社ファンドマネージャーの真木が務めます。是非ご興味ありましたらご家族ご友人をお誘い合わせでのご参加ください。

資産形成はお金を増やす事自体が目的ではありません。あくまでも自分の目標達成のためにお金が必要で、資産形成をされるべきだと考えます。目標は人それぞれで、老後のための資金作りも一つの目標だと思いますし、また、将来留学するためのまとまった資金作りなども目標の一つだと思います。私は、高校卒業後、住み込みで板前をし、資金を貯めて、授業料免除で大学入学、大学費用持ちの交換留学など、留学を目標に資金調達の方法を考えました。留学を通して、語学(主に英語)を学び、ビジネスの言語(会計学)を学び今に至ります。それは、グローバルズムが進んでいく中、日本市場だけではなく海外市場を含め大きな視野を持つことが将来役に立つと考えたからです。



前置きが長くなりましたが、資産形成はもちろんですが、同時に人的資本に時間を投資してみてもいいと思います。私は大学で英文会計と内部監査論を教えていますので、将来的には会計学など他の分野についてもシリーズ化できれば面白いと思います。とりえずシリーズのはじめとして、もっとも需要のありそうな英語習得から初めます。英語習得を考えている方、英語をキャリアアップに活用したい方などにはうってつけなクラスですので、是非参加をご検討ください！

【セミナー開催概要】

日時	全 8 回を想定しています。原則毎回出席できる方を対象としています。	
	Lesson1: 2月19日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson2: 2月26日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson3: 3月5日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson4: 3月12日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson5: 3月26日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson6: 4月2日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson7: 4月16日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
	Lesson8: 4月23日(日曜日)10:30~12:00(90分)	
定員	15名	
会場	ありがとう投信株式会社 本社 東京都台東区上野3-19-4サカイビル	
参加費	無料(テキストを指定していますので、各自実費でご用意お願い致します) 対象者:英語を学びたい方ならどなたでもご参加頂けます。	

【講師プロフィール】 真木 喬敏 ありがとう投信株式会社 ファンドマネージャー
 米国ゴールドゲート大学大学院(金融修士・投資運用専攻)を卒業後、JP モルガン証券、モルガン・スタンレー MUFG 証券、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにて、フロント(アナリスト)、ミドル(マーケットリスクモニタリング)及びバックオフィス(ファンド財務諸表・運用報告書作成)業務に従事。2016年4月より現職。
 米国公認会計士試験全科目合格。調理士免許保有。大学非常勤講師。



<主催・お申込み・お問い合わせ> 完全事前申込制

ありがとう投信 カスタマーサービス部
 電話 フリーコール 0800-888-3900
 (平日 8:30~17:30、土日祝年末年始を除く)
 お申込みはホームページ「セミナー情報」又は
 お電話にてお申し込み下さい。